

平成28年 第10回大田市教育委員会定例会

日 時 平成28年10月27日（木）午後2時

場 所 大田市教育委員会事務局

1. 開 会

2. 前回の会議録の承認について

3. 経過報告

4. 議 題

議第22号 平成28年度全国学力調査結果とその改善策について※（学校教育室）

議第23号 平成29年度市予算に関する意見の申出について（教 育 長）

5. そ の 他

○報告

- ・大田市教育ビジョン策定委員会の開催状況について（総 務 課）
- ・第17回難波利三ふるさと文芸賞入賞作品について（文化・スポーツ推進室）
- ・大田市教育委員・学校長・公民館長による研修・意見交換会の開催について（教 育 長）
- ・市内学校における「いじめ」について 【非公開】（学校教育室）

6. 閉 会

## 平成28年第10回大田市教育委員会定例会会議録

平成28年10月27日午後2時、大田市教育委員会事務局において、第10回大田市教育委員会定例会を開催した。

### 1. 開会及び閉会

開 会 平成28年10月27日 午後2時00分

閉 会 平成28年10月27日 午後3時40分

### 2. 出席委員の氏名

教育長 大國晴雄

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

### 3. 欠席委員の氏名

なし

### 4. 傍聴人

なし

### 5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

田中教育部長 川崎総務課長 橘学校教育室長 川島社会教育課長  
渡邊学校給食センター長 西村山村留学センター長 遠藤石見银山課長  
湊人権推進課長補佐 木村総務管理係長

## 6. 開 会

### 大國教育長開会を告げ開会

#### (1) 前回の会議録について

教 育 長 前回の会議録について、いかかでしょうか。

仲野委員 16頁の私の発言の「それぞれ高校の学校側」とあるのを「それぞれ高校側」としてください。

教 育 長 そうですね。他にありませんか。

委 員 (なし)

教 育 長 それでは、先程の訂正のうえ承認されたものといたします。

#### (2) 教育長の報告について

教 育 長 先月の定例教育委員会は9月の30日に開催しておりますので、報告は10月分だけとなります。10月3日、後ほど報告がありますが、高校魅力化協議会を開催しております。4日、難波利三ふるさと文芸賞二次審査会が開催しました。同日、旧温泉津町の森山喬介元教育長さんの叙勲の伝達をさせていただきました。5日から12日まで、校長の人事評価の中間面接をグループ面接で行いました。7日に教育委員会の事務に関する点検・評価について、外部評価を実施し、3人の方に視察と各課の説明を受けていただきました。今回の視察は、高山公民館の公民館活動の説明と久屋小学校の授業を参観いただき、午後の各課の説明では、質疑を受けました。8日市内の小学校の体操競技会ということで、約200名の参加で総合体育館で行われました。9日は島根県西部寿永吟詠大会に出席しました。13日に市の中学校駅伝大会が、三瓶のクロスカントリーコースでありました。14日、来年度から県の教育魅力化事業を中山間地域高校だけではなく、県内全体に広げる取組の説明会がありました。同日、島根県主催の浜田教育事務所管内の学力育成会議があり、主に学力調査の結果を踏まえて、学力向上をどのように図るかという会議に出席しました。2つの会議は大田市にある県の集合庁舎にて、開催されました。15日は学童野球の県大会が大田市民球場であり、大田市からの出場チームはありませんでしたが、地元開催地として挨拶に行きました。同日、さんべ祭と、特別支援学級・支援学校の作品展示会が国立さんべ青少年交流の家で開催されました。16日、県の陸上競技会と市の陸上競技会などで、県の小体連など

で開催していますクロスカントリー駅伝大会が開催されました。同日、島根県の同和教育推進大会・人権フェスティバルを併催ということで市民会館で開催されました。17日、教育ビジョンの策定委員会を開催しました。教育ビジョンの基本計画の策定作業が始まったところです。18日、難波利三ふるさと文芸賞の最終審査が行われ、結果は後ほど、報告させていただきます。20、21日、倉吉市において、中国地区の都市教育長会がありました。21日、大森にあります宗岡家活用委員会を開催しております。22日ですが、イオンリテールの石見銀山WAONによる銀山基金の贈呈式にて、27年度分、180万円の贈呈が大森の銀山公園でありました。同日、クリーン銀山で石見銀山公園から龍源寺間歩の遊歩道を100人くらいの方の参加で、遊歩道を綺麗にさせていただきました。24日、浜田教育事務所管内の三市三町教育長会があり、来年3月末の教員の人事異動の作業がこれから始まります。26日、指定管理選定委員会ということで、市の総合体育館、サンレディー大田、温泉津のやきものの里などが、来年度以降の指定管理をどこに指定するか委員会が開かれておりますが、いずれも現在指定を受けている大田市体育公園文化事業団と温泉津のものづくり工房の1団体ずつしか応募がありませんでしたので、おそらくその団体になるのではないかと思います。本日27日、定例教育委員会であります。事務局の方から何か補足がありますか。

橘室長 教頭面接を17日、19日、21日でグループ面接で行いました。  
田中部長 22日ですが、MOA美術館大田児童作品展表彰式があすてらすの1階で行われました。今年で23回目を迎え、市内の小学生の絵が10校209点の応募があり、約30人の児童が表彰されました。最優秀作品は、北三瓶小学校の児童の絵で、静岡県にある美術館の全国展に出されるそうです。以上です。

教育長 それでは、経過報告を終わります。

### (3) 議題

教育長 本日これから、議題と報告事項を審議いただきますが、5その他の報告事項の4つ目、市内学校における「いじめ」については、いじめの人権に関わる個別の事柄になりますので、非公開案件とさせていただきます。よろしいでしょうか。

委員 はい。

教育長     それでは、議題に入ります。議第22号平成28年度全国学力調査結果とその改善策について、学校教育室の方からお願いします。

橘室長     今年度の全国学力・学習状況調査の結果と今後の取り組みについて、お伝えします。調査は、今年4月19日に、市内小学6年生と中学3年生全員が受検をしました。まず、生活習慣・学習習慣等に関する調査結果についてです。児童生徒の状況について、全国より上回っているものを◎、○で表し、下回っているものを△、▲で表しています。表中の上の方から小学校6年生、中学3年生ともに共通的なもの、特徴的なものを挙げてみますと、上から3つ目、算数数学の勉強が好きかについては、▲。授業のはじめに「めあて・ねらい」が示されたかについては、○または◎。図書館利用については、◎。2頁目を見てください。予習、復習は▲。メールやインターネット（2時間以上）は△。これはよい傾向を表しています。地域行事への参加は、◎。地域社会でのボランティアに参加は、▲または△。難しいことでも失敗を恐れずに挑戦するは、○。次に、教科に関する調査結果についてです。3頁目をご覧ください。小学6年生は、国語Aのみが、全国平均正答率を上回りました。国語B、算数A及びBは、全国平均、県平均より下回っています。4頁目、中学3年生は、国語、数学ともに全国及び県平均を下回っています。特に、数学A、Bともに全国との差が大きく7～8ポイントも開いています。小中学校全体を見たとき、ここ数年の傾向として、小学生の国語は、平均正答率が高い若しくは平均値に近い傾向である。また、小・中学生ともに算数・数学が弱いと言えます。こうした結果を受けて、各学校で分析・考察をし、今後どう改善していくのか、学校マネジメントの強化、授業の質の向上・改善、家庭学習の3つの観点で報告をしてもらい、まとめたものが4頁目の「今後の取り組み」になります。まず、授業改善・質の向上等については、すべての教員が授業公開をすることを通して、授業力向上に取り組む。特に、児童生徒同士の学び合い学習、ペア学習、グループ学習等を通して子どもを主体とした授業づくりを行う。誰にも分かりやすいユニバーサルデザインの授業方法を取り入れたり、ICT機器を活用したりして視覚的に分かる、説明できる授業にしていくことなどが挙げられています。市教委としては、「今求められている学力」について教職員が意識しながら授業を進めていくために、教職員自身に全学調の問題をやってみよう促す。授業の中での「ふりかえり」と家庭学習が結びつくよう学習の流れをつくるよう助言していきま

す。次に、学校マネジメント等では、教育課程全体の中で学力をどうつけていくのか、全教職員が共通理解し、授業はもちろん、朝学習、放課後学習をも含め、組織を挙げて取り組むということ。また、なぜ学ぶのかといった学習の意義や意欲を高めるキャリア教育の視点をもちながら取り組んでいくことが挙げられています。市教委としては、校長会、市教研、学力育成担当者会等で、組織を通じて連携を図りながら、学力育成に取り組めるよう支援していきます。家庭学習の充実等については、生活習慣の改善をベースに宿題・自主学習の十分な取り組みを行います。特に、終礼時に一日の授業をふりかえり、家庭学習の計画を立てる機会を確保していくよう支援していきます。市教委としては、授業のふりかえりと家庭学習をつなぎ、効果を上げている学校の取り組みを紹介していく。なお、今年度、県の学力調査が小学校3年生から中学校2年生を対象に、年内12月13日、14日に実施される予定です。以上です。

教育長　ご質問等ありますか。教育委員さんには各学校からの学力育成の取り組みについての資料を、お送りしています。それぞれ、学校で考えておられることをご理解いただけていると思います。そのうえで、全体を通じてご質問いただければと思います。

仲野委員　家庭地域の活動のところで、地域行事への参加は◎、一方で地域社会でのボランティア活動の参加というのは△になっているのですが、地域行事への参加というのは積極的に子どもたちが参加するというよりも、義務的に参加しているということでしょうか。そのようなことがあるから自発的にボランティアに参加することに繋がっていないのかなと思うのですがどうでしょうか。

橘室長　詳細な事実まではっきりと掴むことは難しいですが、想定されるのは地域のお祭りやいろいろな団体が行うイベント、そういったところには楽しいから行ってみようという児童生徒は多いのではないかと思います。ですが、自分が考えて地域のためにボランティアをすとか、掃除をすとかそういった主体的な部分については、やや弱いのではないかと思います。お客さんの参加の仕方はしやすいが、自らが地域あるいは周りの人たちのために汗を流す、というようなことをしていきたいというところは、まだ子どもたちには課題があるのかなというところです。

梅枝委員　その他で自尊感情、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦するというのが○になっていますが、頑張っているという意識はあるとい

うことですよね。その逆に、学力の結果としてはよそよりもかなり劣っているという自覚は、子どもたちはあるのでしょうか。

橘 室 長 自己肯定感は近年まで低かったのですが、今回は良い意味で肯定感が出ていると思います。ですが学力面では、数値的に結果が表れていないということなのですが、なぜ学ばなければならないかとか、学ぶ意欲というところに結び付いていないのではないかということが言えると思います。補足になりますが、今回の小学6年生と中学3年生、前年度は小学5年生と中学2年生のとき、この時の県の学力調査の結果というのが残っておりまして、同じ子どもの経年比較をすることができます。その手立てとして県の学力調査で、去年この子どもたちが5年生、あるいは2年生の時どうだったのかという数値を見て、検証比較を私の方でさせていただきました。小学校6年生については国語、算数とも県平均は低くなっています。ですが差はずいぶん縮まっていますので、個人内評価、その子の中での頑張りとしてはぐっと縮まっていて良くなっています。中学3年生についても、国語については去年の自分よりも良くなっていることが見てとれました。ただ数学については、依然課題があるなということを感じました。

教 育 長 先日、三市三町教育長会があり、管内の状況もほぼ似たような状況で、大田、江津、浜田、美郷、川本、邑南とそれぞれ個別の数値について議論を全てしたわけではありませんが、国語はずいぶん頑張っているけれども、算数・数学はなかなか厳しいということと、学ぶ意欲がなかなか上がらないということが話題になっていました。

福間委員 学校からの学力育成の取組について見させてもらったのですが、それぞれの学校が一生懸命取り組んでいる姿はよく見えてきているが、それがなぜ成果として表れないのかという気がしてならないです。学校側としてはやっているのですよね。学校とアンケートの中でも表れてきているのですが、家庭的なところのつながりが十分ではないのか、学校がこれだけ取り組んでいることが家庭の中にどこまで浸透しているのか、そんなに深く取り上げられていない気がします。そこの持って行きようがすごく欠けているし、意識が薄いのではないのでしょうか。成果は少しずつ変わってきていますが、子どもの本質的な取組む姿勢などは親の影響がすごくあると思います。それに対しての持って行き方とか、学校側がこういう取り組みをし

ているのはみえてきているが、自らが取り組んでいく家庭学習など習慣づけが培われていないと思います。もう一つ、小学校と中学校の差が出てくると中学校はどうしてるんだとか、責任のなすりつけ合いのようなものを書いてあったので、それは矛先が違いうだろうという気がしました。

橘 室 長 2頁の意識調査の表の中で、宿題の欄と予習、復習の欄があったと思うのですが、このあたりがだいたい△が多い年が続いています。学校ではある程度、授業改善を進めているところですが、家に帰って子どもたちが学習の時間の確保、机に向かう習慣付け等が不十分で、それは子ども自身の意欲を喚起するために、家庭での保護者の方々からの支援が必要不可欠であると思います。また、ご家庭によっては学力よりも運動で勝負するというような価値観など、多様なとらえかたや価値観があるのかなと感じています。

教 育 長 中学校の件ですが、県内全体で中学校に課題があることが明らかということで、いくつか県全体の分析なり管内の状況が三市三町教育長会で、議論があったのですが、比較的小さい学校ではこの子たちの、たとえば数学と国語に出る学力が教職員間で共有できるので、数学と国語の教科担任でない、その他の教科の担任もそれを意識した授業ができます。たとえば図形グラフに弱いということであれば、図形グラフを他の教科でも使おうとか、語彙力が弱いのでまとめるとかそういうところはかなり意識してできているようですが、少し大きな規模の学校になったときにはやはり、学力調査は数学と国語なので、数学と国語の先生が頑張っねというような空気がいまだに流れています。そここのところを全校で取り組むような状況をつくっていかなければ、その教科だけの、小学校の課題がそのまま来ているだけだとか、特定の教科だけに矮小化されてしまうので、少し大きな学校は取り組まなければいけない。そのためには、全校で教職員の共通理解のもとこの子たちに不足しているものは何かということをしっかり見極めて、教職員の方が当該年度であったり昨年度の問題を見て何が学力で必要とされているのか、求められているのかということをしっかりつかむ必要があり、やはり中学校はそこが弱いということで県でもいろいろと取り組んでいるのが現状だと承知しています。

梶 委 員 2頁のメディアの接触時間とインターネットは、ここだけは△の記号が望ましいということの意味する記号に変わるのですよね。



橘 室 長 はい、そうです。

梶 委 員 一般的にここを見ると望ましくないように見えますが、この現し方しかないですよ。5頁の授業改善・質の向上等のところで、教育委員会の取り組みとしては、「指導にあたる」、「学習の流れをつくる」ではなくて、「指導にあたるよう支援する」、「学習の流れをつくるよう支援する。」とかの方がいいかなと思います。

橘 室 長 はい。ありがとうございました。

教 育 長 最上位層が急激に落ちているというのは少し改善されているのかなという気がしたのですが、どうですか。

橘 室 長 国語Aの大田市を見ると最上位層が上がっています。7市の平均では個人差が開いているということが言えるのかなと思います。

福間委員 ということは低い部分も多いということですよ。そこのところがやはり、家庭の環境の差が出てきているのかなと思います。都会的に言うと競争して上がってくるのですが。

竹下委員 やはり家庭との連携がこれから必要ではないかと思います。家庭では親はどのように勉強を教えればいいのか知りたいと思っっているのですが、それが適切に伝わっていないので、マニュアルのようなものを渡して、それを活用する方法であるとか、親が学習方法について気楽に聞ける環境であるとか、そういったことが必要ではないかと思います。国語については、学校図書館も充実しているし、環境そのものが国語的な環境になっていると思います。算数はそれを学校全体の環境の中に取り入れるというのは、非常に難しい教科です。そうするとどうしても教科の中だけで指導していくことを考えないといけないと思うのですが、図書室の一角で算数的な遊びができるようにとか、算数が楽しくなる環境づくりも必要ではないか、環境全体を整える必要があるのではないかと思います。

梅枝委員 以前図書館で家読というのが盛んに言われたときに、保護者の方も本を読んでやる時間はないとか、本をふんだんに用意できないというお話がありました。親子一緒に読むというパターンの中に、新聞でも何でもいい、親が何かを読んでいる隣で子どもが読むということでもいいんですと伝えると、それならできるという親さんがおられて、親が忙しくしていると子どももじっくり勉強をするとか机に向かうのは難しいのですが、一緒に囲んで話はなくても、お父さんが新聞を読んでいる横で宿題をしているとかそんな環境でもいいという雰囲気整うと、少しずつ勉強をする環境に繋がるのかなと

思ったのですが、現状はどうなのでしょう。

仲野委員 おそらく4頁5頁の今後の取組というのは、学校と教育委員会の方ははっきり出ているのですが、家庭の方はどうなのかということが改めて考えなければならないのは共通した理解だと思いますが、こういう結果がありましたというだけになってしまって、その結果をどの程度の親が見ているのかということのを常に思います。その辺りを少し意識的な調査とか、きちんと理解できているかなども調べてみる必要があるのかなと思います。もう一つ学校から結果が配られてくるのですが、それについて学校とPTAが話し合っていくとか、課題や問題を共有する場や機会は必要なのかなと思います。悪ければ批判的な話になるかもしれないですが、そこを乗り越えて、学校と保護者とこれを話題にして議論して行くというような機会もあればいいと思います。

福間委員 教育ビジョンの中に親学という言葉が何度か出てきたと思うのですが、あの辺りでそういった場面を作りやすいところではないかと思えます。社会的なことではなく、子どもの教育環境などを話し合うことができればいいと思えます。

竹下委員 学校別資料を見ますと、家庭学習の項目に「家庭学習の手引・家庭学習の流れ・自主学習の手引を改訂して改めて保護者に提示して、協力を依頼する」という記述がありました。悪いからこうなさいというのではなくて、家庭と共に子どもたちの学力を伸ばしましょうという方向性が、とても良いと思います。

教育長 踏み込んでこの取り組みをしないと構造的になかなか難しいです。メディアについてはPTA連合会さんでメッセージを出されましたが、次は学ぶということについてどうするのかということを考え、議論する場をつくらなければならないのかもしれないかもしれませんね。それは高校の魅力化であったり、この後の地域人材に繋がっていくことだと思います。この資料は、ご意見をいただいたところを一部修正してホームページに公開します。学校別の資料については公開しません。以上でよろしいですか。

委員 はい。

教育長 続いて議第23号平成29年度市予算に関する意見の申出についてということで、ここ1、2年お願いしていると思います。これから来年度の予算編成の時期を迎えます。特に各教育委員の方々の学力のこと、あるいはそれ以外の様々な分野がありますので、こういったこ

とに新年度の予算については特に教育委員会として取り組みを強化することが必要ではないかということで、それぞれご意見を頂ければと思います。どなたからでも結構です。

福間委員 陸上競技場の公認問題が心配です。新たに申請する際に公認競技場になるのかが心配です。なるためには相当の予算をかけないと難しいとはっきり言われているので、その辺りを対応してもらいたいです。

教育長 公認の競技場がない市はないですよ。隠岐も隠岐高校の競技場が4種になっていますよね。

福間委員 はい、そうです。公認競技場にするためには用具が膨大になるので、それを管理する保管庫がないと隠岐では聞いております。

教育長 ありがとうございます。梅枝委員さんはいかがですか。

梅枝委員 私は図書館のことを思うのですが、大田市は図書館というイメージがついていると思うのですが、人の働きやすさや給料面や休みなどのことと、資格がない方がたくさんおられると思うのですが、専門的なことなので研修の機会などが充実すれば良いなと思います。それがきっと学力アップにもつながると思います。

教育長 ありがとうございます。梶委員さんどうぞ。

梶委員 毎年言っておりますが、人が学校にいるととても助かるということで、支援員や介助員がどんどん増えておりますが、その配置をしていただきたいです。それから耐震化や校舎の安全などは各年次ごとに行われておりますが、施設の安全や遊具の安全などを見直して予算をたてていただければ良いなと思います。

教育長 ありがとうございます。仲野委員さんお願いします。

仲野委員 ICTはこれから重要だと思いますし、我々の時代とは全く考え方も変わって、ICTの活用というのは今の子どもにとって学習効果がすごくいいのではないかと思いますので、出来る範囲で充実していただきたいです。

教育長 竹下委員さんお願いします。

竹下委員 私も支援員などを豊富に配置されるのは非常に良いことだと思いますが、今はじめられている研修の体制をきちんとしていただいて、確実に子どもの力になるようにしていただきたいということです。それから今言われたICTに関しては、研修も含めて充実していただきたいと思います。

教育長 ありがとうございます。そういったところを踏まえて教育ビジョンの基本計画を作っております。その辺りの関連性も持たせなが

ら事務局の方で取り組んでまいりたいと思います。では意見ということで、この後予算編成もありますし、今年度はまだ未開催になっておりますが、総合教育会議もありますので、そういった場を通じて市長、市長部局とも意見交換をしてみたいと思います。ありがとうございました。議題23号は以上とさせていただきます。

#### (4) その他

教育長 では、「その他、報告事項」に入ります。大田市教育ビジョン策定委員会の開催状況について総務課よりお願いします。

川崎課長 それでは私のほうから教育ビジョン策定委員会の開催状況についてご説明いたします。第1回目の策定委員会でありまして、10月17日、月曜日の午後1時30分から3時25分まで開催しております。資料1として委員名簿をつけておりますのでご覧ください。委員は12名でありまして、3番目の小川委員、次の米委員、一段飛びまして武田委員、龍委員、厚朴委員、一段飛びまして、山崎委員、一番下の和田委員の7名が今年度、新たにお問い合わせした委員の皆さんです。当日は、米委員、高橋委員、八束委員の3名が欠席でした。大國教育長より開会の挨拶を申し上げ、そのあと委員の自己紹介をしていただいたのに続き、事務局側も自己紹介をしております。続きまして、経過報告としまして、資料ナンバー2により昨年度の経過と今回の基本計画の位置づけを報告し、続いて、資料ナンバー3の基本構想図に基づきまして昨年度策定しました基本構想の理念、基本方針、重点目標について報告をしております。2件の報告につきましては、質疑はありませんでした。続いて、議事に入っております。まず、資料ナンバー4の設置要綱第5条の規定に基づき委員長、副委員長の選任について、事務局案として小川委員を委員長に、龍委員を副委員長ということで提案し、委員の皆様から異議なしということで選任されたところです。続きまして、基本計画施策・取り組みにつきまして資料ナンバー5に基づき、概要説明を行い、施策の中でも、太字および下線で表示しております施策について重点的に意見をいただきたい旨を説明し、基本方針ごとに協議を進めることとなりました。それぞれの基本方針についてその都度事務局から概要説明をし、その後委員の皆様のご意見をいただく形で進行しております。以下、それぞれの基本方針で出されました主な意見をご紹介します。資料ナンバー6をご覧くださいながらお聞きく

ださい。基本方針の1、生き抜く力を育てるという部分です。2段目の長期宿泊体験学習に関して、学校行事で子どもたちが管理された状態で体験するのではなく、子どもたちが自分たちの力で生活体験する方が効果があるのではないかとのご意見がありました。事務局としては、現在の1泊2日の宿泊体験は自然体験や野外活動が主となっており、それを3泊以上に伸ばすことにより、活動を理科や総合学習の時間と位置づけ、サヒメルや周辺の牧場での畜産体験などの教室ではできない学習を学校のカリキュラムとして取り組むことを考えていると回答しております。重点目標の3、①の育ちの連携、適正な部活動の意味についての質問がありました。小中学校で行っているスポーツテストについて、協議会を設け社会教育課と学校現場が連携して分析を行っており、幼稚園、保育園にも取り組みを広げて子どもの体力や運動能力の向上に努めると回答しております。また、適正な部活動につきましては、過剰な運動や同じ運動の連続による体の支障などの観点から、運動の適正化を図ることが必要であると回答しております。資料ナンバー6の2頁目の基本方針2あるものを活かすについてです。重点目標の2、ESDについて具体的ではなく、大田市として統一してどういう力を子どもたちにつけさせたいのかを明確に示すことが必要ではないか、現状と目指すべき方向性が記載されていないと総花的なものになってしまうという意見をいただきました。事務局から、ご指摘の具体的な事項については次回お示しする予定としていたこと、今回はそれぞれの施策の方向性をお示しして取り組みをキーワードで記載させていただいていると説明をしたところです。3頁目の基本方針3、地域を支え創るについてです。国際的な人材の育成について、英語教育の必要性や海外留学などの体験、海外留学生の受け入れが有効であるとのご意見、また、外国人労働者の増加傾向の状況から、市として外国人をフォローする機関や体制の整備を望む意見がありました。事務局としては、外国人市民との共生という面からも何らかの形で教育ビジョンに取り入れる必要があると考えを述べております。また、教育ビジョン全体を見ると子どもたちを育てる視点が充実しているが、大人たち、生涯教育を豊かにする取り組みも入ると良いとのご提言もいただいております。そのほかにも、多くのご意見やご提言をいただいております。議事録を調製の上、今回の概要につきましてはホームページで公表していくこととしております。最後に、

今後の予定につきまして、次回の委員会を11月21日、月曜日の午後1時30分から開催することをお伝えし、閉会しております。教育ビジョン策定委員会の開催状況につきましては以上でございます。

教育長 ありがとうございます。可能であれば、次回11月21日午後1時30分からの策定委員会にご出席いただければと思います。よろしく申し上げます。その上でご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 では、そのおりの議論を踏まえて次回の教育委員会でも改めておはかりをいたしたいと思います。それでは続きまして第17回難波利三・ふるさと文芸賞入賞作品について、文化・スポーツ推進室からお願いします。

川島課長 難波利三・ふるさと文芸賞入賞作品の一覧表をご覧ください。全体では今年度は359点の作品をいただいています。まず小学生の部です。全体では17点の作品をいただいています。志学小学校4年生の和田絆愛さんの「地いきが元気になったラジオ体そう」を特選としています。以下入選作を3点、温泉津小学校の中嶋さん、浜田市立長浜小学校の中田さん、北三瓶小学校の森山さん、この三点を入選としています。中・高校生の部です。全体で31点応募がありました。この中で江津市立青陵中学校の田向杏さんの「二つのふるさと」を特選としています。以下3点入選ですが、北三瓶中学校の梅津さん、江津市立青陵中学校の押越さん、大田西中学校の森さんの作品を入選としています。それから一般の部です。311点応募がありました。この中で滋賀県草津市の小川さんの「サポーター」を特選としています。市長賞は、今年度は市内から7点の応募があり、その中から難波先生に2点推薦いただき、最終的には市長に選んでいただき、大田町の山尾さんの「波根湖」を市長賞とさせていただきます。以下入選につきましては奈良県奈良市の汲田さん、福岡県福岡市の森さん、大阪府高槻市の吉田さん、千葉県柏市の渡会さん、この4点を入選としました。表彰式につきましては、12月4日10時半から大田市民センター4階で行う予定で皆様にご案内をしています。以上です。

教育長 審査に関わっていただいた教育委員の皆さん大変お世話になりました。それでは報告については以上ですが1点追加ということで、開会前にお話ししておりました、教育委員、学校長、公民館長の研

修・意見交換会の開催になります。12月26日月曜日の午後ということで開催を予定させていただきたいと思います。裏面に原案ということでまだ充分事務局の方で協議をしていませんが、教育委員、校長、公民館長の合同研修・意見交換会ということで、いま一番大きな事柄の1つとしてESDと石見銀山学習ではないかということで、今回ESDと石見銀山学習を柱に据えながら、学校と公民館と、それぞれ来年の世界遺産学習の全国大会に向けて取組みを進めているのでそういったことに関連する報告であったり、研修であったりをしていきたいと思っております。9月議会でもありましたが、子ども議会をぜひ開催してもらいたいという議員さんからのご提言もありましたので、今回は会場を市議会の本会議場と全員協議会室、委員会室をそれぞれ使わせていただくということで内諾をいただいておりますので、教育委員の皆様にも執行部席や議員席に座っていただいて、登壇の上ご発言いただく機会もぜひ設けたいと思います。そういったことで議会制度についても学び、また今後学校教育に、あるいは社会教育にどのようにすれば活かせるのかという研修の場にもしたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。12月26日の午後ということでよろしく申し上げます。追加報告を含めて以上ですが、それ以外に事務局の方で何かありますか。

事務局 ありません。

教育長 それでは、公開の議題等は全て終了致しました。非公開案件は関係者のみとさせていただきます。来月の教育委員会は11月25日金曜日午後2時からです。よろしく願いいたします。

【非公開】 市内学校における「いじめ」について

7. 閉会

教育長 以上をもちまして、第10回大田市教育委員会定例会を閉会いたします。